

部 局 経 営 方 針

平成22年度

薩摩川内市

部局名	消防局	部局長名	上村 健一
-----	-----	------	-------

部局内の 経営資源	当初予算	15.5億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		148人	1人	149人

①部局の使命 (組織の存在価値)	<p style="text-align: center;">消防局の使命は、市民や関係機関・団体等と連携を図り災害の低減を目指すとともに、災害発生時には組織力をもって迅速・確実に対処できる「市民のための消防」を確立し、安全・安心の市民生活を確保することである。</p>	②組織目標像	<p>【施策の目標像】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 予防体制の充実強化（住宅防火対策の強化推進等） (2) 消防体制の強化 （消防庁舎・施設等の整備、常備・消防団体制及び資機材の充実強化） (3) 救急・救助体制の強化 （救急・救助活動等の高度化の推進及び救命率の向上） <p>【組織の目標像】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 親しまれ、信頼される消防 （防災の要として使命感と責任感を持ったプロ組織の確立）
---------------------	--	--------	--

平成22年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

③重点事項	④具体的な成果目標（めざそう値）	⑤具体的な取組内容	⑥進捗状況（年度中間）	⑧年度末の達成状況
市民との協働・連携による地域の防災活動能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> (1) 自主防災組織の訓練実施率 30% (2) 災害時要援護者への声かけ率 100% (3) ゴールド集落の各世帯への防火見回り 100% 	<ul style="list-style-type: none"> ① 自主防災組織に対する、教育研修（各種訓練を含む）の実施及び自主防災力の向上 ② 災害時要援護者に対して、職員及び団員による声かけの随時実施 ③ ゴールド集落に対する防火対策の推進等 		

部 局 経 営 方 針

平成22年度

薩摩川内市

<p>出火率の低減</p>	<p>(1) 出火率 (火災件数÷人口1万人) 5以下 ※年間火災件数50件以下</p>	<p>① 枯草焼却等における注意喚起の徹底指導 ② 自主防災組織と連携した住宅防火対策の推進 ③ 積極的な広報活動の実施</p>		
<p>住宅用火災警報器の普及促進</p>	<p>(1) 住宅用火災警報器の設置率 全世帯の80%以上</p>	<p>① 普及低率地区の重点的な普及促進活動並びに市内全域の戸別訪問の実施 ② 各種団体、業界と連携した強力な普及促進体制</p>		
<p>救命率の向上</p>	<p>(1) 普通救命講習受講者数 3,000人/年 (2) 救急現状に居合わせた市民による心肺蘇生法実施率 50%以上 (3) 119番通報時の口頭指導による市民の心肺蘇生法実施率 90%以上 ※ 心肺蘇生法 ┌ ・気道確保 ├ ・人工呼吸 └ ・心臓マッサージ (4) 軽症者搬送率 30%以内</p>	<p>① 「市民救命士」の養成に向けた普通救命講習の積極的な広報・実施 ② “救える命を救うため”に、市民・救急隊・医療機関が連携した救急医療体制（救命の連鎖）の一層の充実 ③ 効率的・効果的な救急車の適正利用の啓発・促進 ④ メディカルコントロール体制の強化</p>		
<p>消防職員・団員の人材育成</p>	<p>(1) 消防職員・団員の教育機関等への派遣研修 (i) 消防職員 34人 内訳 ・消防大学校 2 ・消防学校 21 ・救急救命士養成 1 ・その他 10</p>	<p>① 更なる倫理の確立に向けて法令遵守等の職場内研修の実施 ② 各種研修の有効活用を図り、消防職員・団員の職務意欲を喚起し能力向上に向けた積極的な研修の推進</p>		

平成22年度

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

	(ii) 消防団員 21人 内訳・消防学校 21 (2) 消防団員研修 100人(3回) (3) 交通法令・事故防止研修 ・職員 全職員 ・団員 200人	③ 消防団研修の更なる充実及び女性消防団の積極的な参加 ・消防団の資質の向上 ・訓練礼式の向上				
⑦年度中間総括						
⑨年度末総括						